



2018年 ドリームごよみ 4月

高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

2018年4月10日発行



2018年3月のご報告



第34回ドリームサロン 3月21日（水・祝）

（参加者：お客様 14名、トレーニー 19名、家族ボランティア 10名、職員 9名）

第1部：「失語症のある方とのコミュニケーション」～症状とコミュニケーションスキル～

当日は雪まじりの冷たい雨が降るあいにくのお天気でしたが、外部のお客様もたくさん来られて、失語症について知りたいというニーズが大きいことが感じられました。

講師の廣實先生（帝京平成大学教授）のお話は、ポイントを押さえたとても理解しやすいものでした。失語症にはタイプがあり、それに合わせて短い文または単語で話しかける、ひらがなより漢字のほうが分かりやすいなど多くを学びました。またコミュニケーションとは、お互いに理解したいという気持ちの上に成り立ち、人と一緒にいて楽しい、話していて楽しい状況が大切とお話いただきました。そのためのコツとして、「テーマ」を提示してから話しかけることや、会話したことを紙に書くことでお互いに伝わったかどうか確認することなどがあげられました。

最後に全員が二人一組になり①「はい」「いいえ」で答えられる質問をする、②選択肢の中から答えてもらって話を引き出す、という実習を通してコミュニケーションスキルの一端を体験しました。



<アンケートより>

第1部：講演

- ・失語症の方とは「単語」を書きながら提案したほうが良いということが印象に残りました。（ババちゃん）
- ・「会話の要点を、単語で書き留めて、共有」を常に実行が大切と心に留めた。（家族）
- ・細かい対応の仕方や専門用語の解説など、大変参考になった。（家族）
- ・とても勉強になった。今後の自分にも周りの方々にも、学んだこと判ったことを役立てていきたい。（福祉関係者）

第2部：当事者と共に語り合おう

- ・廣實先生に聞きたいことが全部聞けたように思えた。（ぐっさん）
- ・疲れの度合いを記録し、自分自身をモニタリングすることを実践したいと思う。（ババちゃん）



・皆さんいろいろな症状で努力していることや、ドリームで楽しく有効に活動していることを知ることが出来た。(家族)

・ドリーム利用の皆さんや家族の話を聞いて、大変であるが希望があると感じられ、希望が感じられる場所があることの大切さをとても感じた。(福祉関係者)

神代植物園でのお花見 3月28日(水)

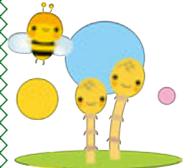
(参加者：トレイニー 17名、コーチ・ボランティア 4名、家族 5名、職員 8名)

今年は一気に春がやってきました。急きょ一週間予定を早めたおかげで、素晴らしいお花見日和に恵まれました。



事前に絵を描こうのコーチやっちゃんの提案で、自分で気に入ったシーンを写真に撮り、週末の「絵を描こう」の時間に写真をもとに一気に絵を仕上げました。特大のサクラの花をご覧ください。

俳句



絵を描こう



夢市だより

【りきどうさん/トレイニー】

4月は夢市にて食器市を開催中です。お皿、小鉢、グラスなど売出中です。夢市の接客担当がドリームエプロンを着用するようになりました。また、夢市では、毎週テーマを決めて店頭ディスプレイを変えています。これまで、靴、カバン、アクセサリ等を目玉商品として店頭展览展示してきました。ご来店の際は是非、注目してみてください。

しろちゃんの認知リハ

大学院で学んだ知識を活かしていきたい【しろちゃん/コーチ】

1月から毎月1回、認知リハのプログラムを担当させていただくことになり、初めはとても緊張して頭が真っ白になっていましたが、皆さんが優しく迎えて下さったおかげでこれまでの3回のプログラムをなんとか実施することができました。



コーチとして様々なことを考えてプログラムを作成して臨んでいますが、 트레이ニーの皆さんが盛り上げて下さったり、様々なフォローをして下さったりして、毎回支えられながら参加者全員と一緒にプログラムを作り上げていっているような感覚でいます。皆さんの心遣いに助けられながら私も皆さんから多くの事を教えていただき、エネルギーをいただき、コーチとしてより一層頑張っていこうという気持ちです。

今まで注意機能・処理速度を上げるトレーニング、記憶方法を学ぶといった内容や、トレーニングを兼ねたゲームなどを行ってきましたが、皆さん熱心に取り組まれておりとても良い認知リハビリになっているように思います。

この認知リハで皆さんの生活にほんの少しでも良い変化があればと思い、大学院で学んだ知識を最大限活用してプログラムを考えていますので、これから来年の1月まで皆さんぜひプログラムに参加していただいて、脳機能の改善をしていければと思っています。コーチとして未熟な点が多々あるとは思いますが、これからも一生懸命皆さんと楽しみながら頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお祈りします。

絵手紙



◆ご見学・ご来所など◆ 3月1日(木)より6回、調布市の当事者の方が体験見学。 6日(火)・16日(金)：調布市より当事者の方が体験見学。 9日(金)：調布市より当事者の方とご家族が体験見学の後、14日より利用開始。 9日(金)：元トレーニーと家族の来所。 27日(火)：指定相談支援事業所「野の花」職員2名、トレーニーの支援会議のため来所。 31日(土)：当事者会に西東京市の当事者の方が出席。

◆ご寄付よろしくお祈りします◆ ご寄付の振込先 郵便局 00180-9-651828 「調布ドリーム」

※通信欄に「寄付」と明記の上、ご氏名、ご住所、お電話番号をご記入ください。追って領収書を送らせていただきます。またドリームごよみにお名前を掲載させていただきますので、匿名ご希望の方は、その旨も通信欄にご記入をお願い申し上げます。

◆東京都の高次脳機能障害専用電話のご紹介◆

・東京都心身障害者福祉センター 電話 03-3235-2955 FAX 03-3235-2957
月～金曜日 9時～12時、13時～16時(祝日・年末年始を除く)

・とうきょう高次脳機能障害インフォメーション <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/index.html>

4月の予定 (都合により変更もあります) ボランティア募集中

<生活訓練>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 SST 囲碁教室	4 自主編物 体操 / 音楽	5 パソコン 午後休み	6 料理の買物 卓球	7 料理教室
8	9	10 認知リハ 運営委員会	11 グッズメイク 体操 / 音楽	12 囲碁教室 パソコン	13 音楽 卓球	14 絵手紙 当事者会準備
15	16	17 認知リハ 書道教室	18 編物教室 体操 / 音楽	19 パソコン ゲーム	20 脳トレ 卓球	21 料理MT 映画鑑賞「潜水服は 蝶の夢を見る」
22	23	24 囲碁教室 カラオケ	25 新聞アート 体操	26 パソコン スポーツ吹矢	27 染地まつりMT 卓球	28 絵を描こう 当事者会
29	30	火曜日～土曜日：10時～15時 10時：ラジオ体操		MT：ミーティングの略 SST：社会生活技能訓練		

<就労継続支援 B 型>

日	月	火★	水★	木★	金★	土★	
1	2	3 販売&整備 販売&整備	4 DDクッキー製造 SST	5 受注作業/MT 午後休み	6 販売&整備 卓球	7 料理教室	
8	9	10 販売&整備 運営委員会	11 DDクッキー製造 SST	12 DDクッキー製造 受注作業/MT	13 音楽 卓球	14 絵手紙/販売品製作 販売&整備	
15	16	17 販売&整備 販売&整備	18 DDクッキー製造 SST	19 DDクッキー製造 受注作業/MT	20 販売&整備 卓球	21 販売&整備 映画鑑賞「潜水服は 蝶の夢を見る」	
22	23	24 販売&整備 カラオケ	25 DDクッキー製造 SST	26 DDクッキー製造 受注作業/MT	27 染地まつりMT 卓球	28 絵を描こう/販売 品製作 当事者会	
29	30	★「夢市」は火曜日から土曜日まで 10時～15時開店 ただし、プログラムの都合上、午後は閉店となる日があります					

調布ドリームご利用ガイド

- *活動日：週5日(火～土)10時～15時。送迎なし。昼食は各自持参。
- *生活訓練プログラム(定員10名)：卓球、音楽、認知リハ、パソコン、グッズメイク、ゲーム、絵手紙、編物、SST、絵画、新聞アート、書道、イトコサガシ、料理、スポーツ吹矢、カラオケ、ジャズピアノ、映画鑑賞、囲碁 etc.
- *就労継続支援 B 型プログラム(定員10名)：『夢市』(犬用クッキーや自主作品の製造販売とリサイクル品等の販売)、パソコン・絵手紙・絵画などにおいて商品の開発、レクリエーション(卓球、カラオケ、映画鑑賞) etc.
- *共同プログラム：地域イベント参加、ドリームサロン開催、旅行
- *職員：<兼務>施設長1名、サービス管理責任者1名、事務員1名(非常勤) <生活訓練>支援員4名(常勤2名・非常勤2名) <就労継続支援 B 型>支援員3名(常勤2名・非常勤1名)、職業指導員1名(非常勤)
- *専門資格：作業療法士1名、社会福祉士1名
- *リハビリ講師：(卓球、編物、認知リハ、絵手紙、ゲーム、パソコン、絵を描こう、ジャズピアノ、新聞アート、吹矢、書道、囲碁)
- *ボランティア：一般ボランティア・家族ボランティアが、夢市・編物・卓球・料理などで活躍中。(ボランティア募集中)
- *ご利用には障害福祉サービス受給者証が必要です。(お住まいの各区市の障害福祉課に申請)
- *障害者手帳がなくても高次脳機能障害の医師の診断書がとれる方、また介護保険の第2号被保険者(40～65才未満)の方もご利用いただけます。
- *利用料は障害者総合支援法の規定に基づきます。所得により月額負担上限額があります。
- *随時ご相談を受け付けます。まずは見学にお出でください。不明な点は、その際にご相談ください。

編集後記 今年の桜は本当にあっという間に散ってしまいましたね。でも、春の花は今が満開。そして、春の野菜も続々と出てきています。もしかしたら、あっという間に夏になっちゃうかもしれないので、今のうちに堪能しなきゃ!(まさみ)

NPO法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム <http://www.chofudream.com>

(〒182-0036 調布市飛田給2-22-7 TBKビル1階、京王線「飛田給」駅南口徒歩1分)

TEL/FAX: 042-444-3068

E-mail: info@chofudream.com

代表 吉岡千鶴子



調布ドリームでは、みんなが呼称を申告し、対等で打ち解けやすい呼び方を取り入れています